

集落だけで環境の維持・管理が難しくなる中で...

津房地区公民館便り

編集・発行
津房地区公民館

電話番号
48-2001



↑戦没者共同墓地の清掃作業の様子。



↑萱籠の割道作業の様子・近隣市から帰省した方々もたくさんいました。

七月十三日(土)に、津房遺族会が維持管理している津房地区戦没者共同墓地(板場)の除草作業がありました。また、七月二十七日(土)には大内集落の割道作業、八月四日(日)は萱籠集落の割道作業がありました。

いづれも、津房遺族会や単一集落だけでは作業が困難な状況があり、「支援」の要請が津房まちづくり協議会にあり、出役者を公募して行われました。

「遺族会」も「集落」も過疎化と高齢化が進み、「自助」だけでは集落の機能が果たせなくなってきています。それは、いづれの地区でも同じことと思います。『お互い様』の精神で、扶けてゆく津房地区であって欲しいと願っています。無理をすると続きませんので、出来るときに「できるだけ！」

真に生き辛き世の中!

記事がないので、「放言」しました。

別に例のフワちゃんの言動や染色体XYの「女性」ボクサー、和田アキ子氏の「トド」発言を問題視したりするのは全然かまわないと思います。「いい」とか「わるい」とか思うのは自由だし、意見を交わしあうこともいいし、意見を交わしあう中で新しい視点や考えが自分の中に生まれればそれは儲けもの。

ところが、SNSの中の世界は「顔」も見えない、どこの誰かもわからないから?か言いたい放題の罵詈雑言あふれる世界になってしまっていますね。

裏面の「チャンスはハゲおやじ」っていう本の題名だって、中身は別にして噛みつく御仁は噛みつくのかも?

長き昭和の時代(「~ハラスメント」大全盛期)をすべて良しとはしませんが、「馬鹿言ってるじゃねー」という「ハゲおやじ」がいた時代=(理屈抜きに)「悪いものは悪い」という時代が、「なんで人を殺してはいけないのか?」などの問いが成立した平成の時代を経て、この令和の時代=「なんかおかしくねえ」とネット社会についていけない「おやじ」は思うのですが…。だれか指南してほしい気分!

御礼

左記のご家庭より香典返しをいただきました。御礼申し上げますとともに、ここに紹介させていただきます。

・六郎丸 永田 信一様
(義理のご母堂
末松ツル子様ご逝去)



安心院縄文会主催 講演会のお誘い

子育て世代
の方もぜひご
参加ください

安心院縄文夏季文化講演会

「久留島武彦 と童話の里」



講師 久留島武彦記念館
館長 金成妍
キム ソン ヨン

日時 令和6年8月31日(土)
10:00~12:00

場所 宇佐市安心院地域複合支所
多目的ホール(1階)

このQRコードから申し込みができます
し、当日飛び込みでも聴講できます。



問い合わせ先

安心院縄文会事務局 遠嶋洋司

電話 0978-48-2338

金成妍(キムソンヨン)さんとは…

旧久留島記念館をリニューアルしてつくられた久留島武彦記念館の館長さん。韓国生まれで、九州大学大学院で久留島武彦を研究し文学博士の学位を取得。「自分が勉強したものをこれからは社会のために貢献できるように頑張りたい」と卒業後から研究活動とともに講演活動を行っています。

2017年に同記念館が開館するとともに館長に就任され、現在に至っています。右にある「チャンスはハゲおやじ」という久留島武彦の名言を解説した書籍を出版されています。講演は「子育てにも役立つ」お話と思います。「子どもが育たなければ日本の未来はない」(久留島氏名言)

安心院縄文会とは…

平成元年に発足した「埋もれた歴史的文化遺産と自然景観を探访し、ふるさとの先人たちの足跡を偲びつつ、明日の新しい安心院町の発展に資するための学習と奉仕活動を行うこと」を目的としたボランティア団体です。

現在、板場の遠嶋洋司さんが事務局長、松本の財前忠夫さんが事務局次長(津房代表)をされています。歴代の会長には、東恵良の古恵良菊男さん、松本の井福義彦さんが名を連ねています。

年1回の「安心院縄文会」という会報を発行し、講演会や研究会、調査研究などを行っています。

久留島武彦さんとは…

玖珠町出身の児童文学作家です。童話そのものの大ヒット作品はありませんが、童謡「夕焼け小焼け」の作詞が有名です。玖珠町が「童話の里」と呼ばれる所以です。「継続は力なり」という名言の発信者でもあります。日本全国で童話の読み聞かせ活動を行いました。今でも町内の小学校では「読み聞かせ」を行うボランティア団体による読み聞かせが行われています。

